

真和館だより 第35号



風の彩り

汎用性と専門性（個別性）



施設長 藤本知彦

令和7年6月2日の日本経済新聞の1面にAGI(汎用人工知能)が25番目のGPT: General Purpose Technologies(汎用技術)となるのではないかと記事が載っていました。GPT(汎用技術)とは社会全体に影響を与える技術のことで、古くは1万年前の植物の栽培に始まり、今までに24の技術があるそうです(①植物の栽培、②動物の家畜化、③鉱石の製錬、④車輪、⑤筆記、⑥青銅、⑦鉄、⑧水車、⑨3本マストの帆船、⑩印刷、⑪蒸気機関、⑫工場、⑬鉄道、⑭鋼製汽船、⑮内燃機関、⑯電気、⑰自動車、⑱飛行機、⑲大量生産、⑳コンピューター、㉑リーン生産方式、㉒インターネット、㉓バイオ技術、㉔ナノ技術)。24個のGPTを見ると確かに時代を変革してきた技術がずらりと並び、“汎用性”のある技術の凄さを感じますし、特に民間の製造会社にとっては、この“汎用性”のある技術開発が重要であると思われま

す。一方、我々が働いている福祉業界では、汎用性の対義語である専門性、個別性が求められています。支援者はクライアントに応じた支援が必要であり、バリエーションの7原則にも個別化の原則があります。当然、救護施設 真和館でも、入所者様一人一人に応じた個別支援計画を策定していますし、入所者様に応じた学習会を開催しています。特に学習会関係では、アルコール依存症の学習会等にとどまらず、統合失調症や知的障がい等の入所者様の疾患や障がいに応じた学習会を実施しており、更に個別性を高めたオーダーメイド型の「個別学習」を開催しております。個別学習の始まりは、統合失調症者で学習会に出席されない方(嫌いな人がいるので出席したくないという理由)がおられたので、その方一人を対象に平成29年度から個別学習が始まり、それを契機に様々な病気をお持ちの方に対して、その方お一人お一人に合わせたオーダーメイド型の個別学習を実施してきました。これまでに実施した個別学習は、統合失調症、ADHD、双極性障害、うつ、強迫性障害、高次脳機能障害、アルコール、薬物、ギャンブル、クレプトマニア、アンガーマネジメント、LGBTQ+、パソコンなどがあります。この個別学習の利点としては、マンツーマンで実施しますので、学習が深まるだけでなく、入所者様をより深く理解することもでき、信頼関係も深まります。また他者と係わることが難しく、人付き合いが苦手な方も学習することができます。

このように個別性を重視した入所者支援や学習会は、様々な利点がありますが、デメリットとして、手間がかかる=コストがかかるという問題があります。そのため汎用性がある支援ツールも必要であり、真和館ではアルコール依存症の回復支援に関しては“アルコール回復支援羅針盤”というツールがあり、精神障がい者への支援ツールとしては、現在、“真和館ホスピタリティ～精神障がいの支援の拠所～”を作成中です。またお酒の飲みすぎで脳が委縮した方や障がいがあるため理解力が乏しい入所者様が大勢おられます。そのため現在、理事長が音頭をとって、誰にでも分かりやすいアルコール依存症の回復支援ツールの作成に取り掛かっています。但し、この汎用性のあるツールをつくる上では、様々な個別の案件の積み上げは必要であるため、個別性も重要となってきます。今後とも、この汎用性と個別性の両者のバランスと費用対効果を考えながら、施設運営を実施してまいります。

入所者統計

R7年4月1日現在

1) 障がい区分状況

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい			生活障がい	合計	(内アルコール依存症)
				身体障がいと知的障がい	身体障がいと精神障がい	知的障がいと精神障がい			
男	2	4	34(10)	0	1	4	4	39	(26)
女	0	1	14(9)	0	0	1	2	16	(5)
計	2	5	48(19)	0	1	5	6	55	(31)

※身体(3級以上)・知的・精神障がい(3級以上)の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。

※精神障がいの()内は統合失調症者の数である。

※生活障がい者とは手帳は所持していないが、地域で生活できない人(業界用語)。

2) 年齢別入所者状況

	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計
男	0	0	4	6	8	4	12	5	39
女	0	0	4	3	0	2	5	2	16
計	0	0	8	9	8	6	17	7	55

平均年齢 男) 66歳 8ヶ月 女) 64歳 5ヶ月 全体) 66歳 0ヶ月

令和6年度 決算報告

貸借対照表

令和7年3月31日現在

法人合計

(円)

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	94,406,764	流動負債	32,002,624
固定資産	943,233,990	固定負債	120,472,605
土地	7,881,175	負債の部合計	152,475,229
建物	693,357,871	純資産の部	
その他建物	3,420,290	基本金	71,446,947
構築物	25,947,322	国庫補助金等特別積立金	387,372,878
車両運搬具	1,905,883	積立金	162,400,000
器具及び備品	23,765,024	人件費積立金	27,000,000
有形リース資産	968,000	施設整備積立金	135,400,000
ソフトウェア	0	次期繰越活動増減差額	263,945,700
退職給付引当資産	23,552,605	(うち当期活動増減差額)	21,649,039
その他	162,435,820	純資産の部合計	885,165,525
資産の部合計	1,037,640,754	負債及び純資産の部合計	1,037,640,754

事業活動計算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

法人合計

(円)

勘定科目	決算
サービス活動収益計	360,586,798
サービス活動費用計	339,681,180
サービス活動増減差額	20,905,618
サービス活動外収益計	6,423,243
サービス活動外費用計	4,716,820
サービス活動外増減差額	1,706,423
経常増減差額	22,612,041
特別収益計	0
特別費用計	963,002
特別増減差額	-963,002
当期活動増減差額	21,649,039
前期繰越活動増減差額	259,296,661
当期末繰越活動増減差額	280,945,700
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	17,000,000
次期繰越活動増減差額	263,945,700

資金収支計算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

法人合計

(円)

勘定科目	決算
事業活動収入計	367,010,041
事業活動支出計	323,995,525
事業活動資金収支差額	43,014,516
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	23,998,558
施設整備等資金収支差額	-23,998,558
その他の活動収入計	0
その他の活動支出計	19,816,070
その他の活動資金収支差額	-19,816,070
当期資金収支差額合計	-800,112
前期末支払資金残高	83,964,247
当期末支払資金残高	83,164,135

令和7年度 年間支援計画

	指導班	生活支援班	医務班	調理班
4月	・対話集会 ・創立記念式典 ・心みがきの講演会 ・AA健軍グループ 青空ミーティング (アスペクタ)	・誕生者食事会 ・春の旅行 ・春の食事会 ・花見学	・健康指導	・創立記念弁当 ・栄養指導
5月	・対話集会 ・ピアカウンセリング (統合失調症)	・誕生者食事会 ・ゴールデンウィーク 特別映画鑑賞会 (連休中) ・西原村区役 ・春のスポーツ大会	・感染症予防勉強会 (食中毒)	・端午の節句献立 ・バーベキュー大会
6月	・対話集会 ・熊本県断酒友の会 一般公開セミナー ・AA九州沖縄地域 ラウンドアップ	・誕生者食事会 ・カラオケ大会 ・地域防災訓練 ・還暦祝い	・フットケア勉強会	・60歳 ・敬老の日
7月	・対話集会	・誕生者食事会 ・会長杯卓球バレー大会	・熱中症予防勉強会	・土用丑の日献立 ・七夕メニュー
8月	・対話集会 ・心みがきの講演会	・誕生者食事会 ・夏の食事会 ・お盆特別映画鑑賞会 ・青年会館杯卓球バレー 交流大会	・口腔ケア勉強会	・お盆献立
9月	・対話集会 ・熊本地区オープンス ピーカースミーティング	・誕生者食事会 ・夏の旅行(キャンプ) ・西原村区役	・健康診断(第1回)	・お彼岸献立 ・敬老の日献立 ・お弁当(外部仕入れ)
10月	・対話集会	・誕生者食事会 ・秋のスポーツ大会	・健康指導	・ハロウィンメニュー ・非常食メニュー ・栄養指導 ・バーベQ大会
11月	・対話集会 ・アディクションフォー ラム	・誕生者食事会 ・秋の一泊旅行 ・秋の食事会 ・紅葉見学 ・星野富弘美術館見学 ・西原村老人健康 づくりスポーツ大会 ・火の国杯卓球バレー 大会	・インフルエンザ 予防接種 ・感染症予防勉強会 (インフルエンザ)	
12月	・対話集会 ・心みがきの講演会 ・年納め式 ・熊本アルコール関連 問題学会 ・球磨・人吉地区合同 断酒 ・益城病院忘年断酒会 ・真和館忘年アルコール 学習会	・誕生者食事会 ・なかよし祭り ・カラオケ大会 ・大掃除 ・餅つき ・年末・年始特別映画 鑑賞会	・感染症予防勉強会 (ノロウイルス)	・冬至献立 ・クリスマスメニュー ・年越しそば
1月		・誕生者食事会 ・初詣		・おせち料理 ・七草粥 ・鏡開き献立
2月	・対話集会	・誕生者食事会 ・植木市見学		・節分献立 ・バレンタイン メニュー ・お弁当(外部仕入れ)
3月	・対話集会 ・心みがきの講演会 ・益城病院アメンスト 例会(年3回~4回) ・九州アルコール関連 問題学会	・誕生者食事会 ・お花見会	・健康診断(第2回)	・桃の節句献立 ・お彼岸献立 ・お花見お弁当

学習会：みんなの声

真和館では、毎日、学習会が行われています。
今回はその中から、統合失調症の方の「ひまわりの会」、知的障害の方の「スイートピーの会」、精神の病気を抱えている方の「心の健康教室」、そして、アルコール依存症の方の「真和館アルコールミーティング」に参加されている入所者の声をお届けします。

ひまわりの会 (統合失調症の会)

ひまわりの会は8年目に入りました。長年、統合失調症についての学びを進めていくうちにメンバー間の繋がりができ、様々な体験を語られるようになりました。幻覚症状や心配事を共有することにより、メンバー間で助言されたり、笑いが起きたりとメンバーの優しさが漂う空間です。回復はとてもしっかりですが、病気への理解や人との接し方、そして、思考の変化や成長を感じる和やかな会です。

『幻覚や妄想が出た時、 どのような思いをしたか』

死ねと聞こえる声を見逃し続けても何回も聞こえてくるから、死にたい気持ちになる。幻聴だと判断できないけど、説明されるとわかることもある。

常に誰かに見られていると思うことがあった。出歩くのが怖くて、引きこもりになった。クリニックに行くようになって治まった。

現実的にははっきりしていることとしていないことは確認する。現実かわからんことは、考えないようにしている。

『病気の症状だと 受け止めることができるか』

症状だと受け止めていきたい。統合失調症は、想像力が豊かでみんな優しい。

症状だと捉えることは難しい。そう(幻覚)だと思ったらなかなか抜け出せない。

幻視と幻聴が出てきてもそこまで気にしない。症状かもしれないと思う。言葉にするのが難しいけど、現実と現実じゃないのはわかる。現実じゃないと言いついて聞かせるのかもしれない。いるはずがないと思う。

『何かおかしいことが 起こっていると気づいた 最初の症状や異常体験』

少しずつ悪くなった。心がやられていった。迫ってくる感じがした。周りについていくのが大ごとやった。

吐き気がした。人の声も聞こえた。ラジオ局が喋っているみたいだった。自分の心、自分の考えていることが見透かされているように感じた。

今迄出来ていたことが急に出来なくなった。やらないといけないうのはわかっているけど、体が動かなかった。動悸や心臓がバクバクしてこのまま死んでしまうのではないかと考えた。

スイートピーの会

(知的障がい者の会)

スイートピーの会では、知的障害のある方々が社会の中で周囲と衝突することなく、助け合いながら楽しく暮らしていける力を身につけることを目指しています。

主に、「オ・ア・シ・ス」を使った文章の読み書きをはじめ、形容詞や副詞の理解、5W1Hの問いに答える練習などを行っており、ホワイトボードを活用した分かりやすいグループミーティング形式で進めています。

思ったことを話せる学習会なので楽しい。

坂村真民先生の「一日一言」が好き。その内容を分かりやすく説明してくれるので勉強になる。

仲間が居て色々な学習が出来て楽しい所です。「オ・ア・シ・ス」を使うと話しやすいので意識するようになりました。自分の為になっているので良かったです。

みんなの好きな事や好きな食べ物などが知れるのが楽しい。「オ・ア・シ・ス」をマスターしたい。

心の健康教室

『最初は、「違い」を感じたが相手を認め、関係が出来た時』

相手の生きている世界があまりにも違うから、最初は、つかず離れずでお互いを探るようだった。けど、最近、自分と同じ病気だと知った。性別や病気は関係ないと、思いが真逆になった。

最初は、付き合いたくないと思っていた。話していくうちに色々な話をするようになって、親友になっていった。

これまでの人生経験から自身の見方や考え方、価値観で今を生きています。心が安定している方、心がソワソワしている方等様々です。自分の心の向き方によって、精神状態が変化します。精神を修養すること(心を養い自分を高めること)で、人・ものに対する理解を広げ、心の豊かさを広げていく学習会です。

『自分を褒める』

自分を褒めることは、自分を応援することに繋がる。直ぐ忘れるので書いている。今の自分は優しさをモットーにしている。とにかく不公平のないようにどの人にも優しさを込めている。

真和館アルコールミーティング

「真和館アルコールミーティング」は、毎週水曜日の午前に行われています。真和館の蔵書の中から、教材となる書籍を選び、参加者と輪読し、テーマを決めて、ご自身の体験を話していただいています。

『ブラックアウト』

飲み屋で後輩とブラックアウトするまで飲んでた。ブラックアウトしても飲んでて、目が覚めたらカウンターの上で寝たこともありますし、ショットガン飲んで(ブラックアウト)したこともありますし、知らない人の車で寝てて、すみませんということがありました。

『酒をやめるように言われた時の気持ち』

アルコール依存症と言われて、目の前が真っ暗になった。一生飲まれんと聞いたもんだけん、生きる力がなくなった。何ば頼りにして生きてらいいか。酒とったら、何が残るかって感じだった。

『これからの人生を大切に生きる』

一通りやりたいことはやってきたので、何がしたいというのはないけど...これから...。家庭菜園がしたい。四季を感じる生活がしたい。春は桜を見て、夏は海とかで日焼けしたりして。でも、人の多いところ苦手だしなあ。秋は紅葉を見に行ったりして。のんびり楽しく、いい歳の取り方をしたい。

『飲んでいるのが楽か、しらふが楽か』

飲んでた頃は、孤独でした。一人で生活してたから。飲んでた時、楽しい気持ちだったけど、やっぱり飲んでると余計なこと考えるし、眠剤全部飲んだこともある。しらふでここにいる、おだやかに生活できている。

『酒は美味いと思っただけで飲んでいたか』

私は現実逃避で飲んでいました。暑い時はビールが美味しかった。普段は焼酎ですけど、4リットル、5リットルの焼酎を飲んでました。酔えれば何でも良かったです。

レク・行事

6年ぶり

天草一日旅行に行ってきました



コロナウィルスが流行し始めてから、ずっと行けなかった春の旅行！ワクワクドキドキで出発しました。天気も良く、青空が広がり車窓から見える海の景色は格別のものでした。行き先は天草の海中水族館シードーナツ！イルカやウミガメを間近で見ただけでなく、触れ合うこともでき、存分に楽しみました。昼食は魚の美味しいレストランへ。新鮮な食材に舌鼓を打ちながら堪能し、ニコニコ笑顔での楽しい食事となりました。最後に、お土産を買い、宇土の住吉神社へ行き帰途につきました。参加した皆さんは「本当に楽しかった。リフレッシュができて良かった。ありがとうございました」等、口々にお礼を言われ、今後も良い思い出が出来るように頑張ろうと思え、職員にとっても嬉しい日帰り旅行でした。

食事会

季節の旅行(春の旅行)で食事会を希望された方は、回転寿司かレストランのどちらか好きな方を選択され、外食を楽しめました。食事中は職員との会話を楽しまれる方や、黙々と食事を楽しまれる方など様々でしたが、皆さん久しぶりの食事会を堪能されていました。



花見

4月1日、菊池公園へお花見に行ってきました。天気は生憎の曇天でしたが、満開の桜の木の下で食べるお弁当は格別でした。花見の後は物産館で買い物をしたり、近くの菊池神社に行ってお参りをしたりと、外出を満喫しました。



春のスポーツ大会

5月21日(水)に春のスポーツ大会を開催しました。恒例のグランドゴルフ、ダーツ、輪投げ、ストラックアウト、ペタンクを実施し、最後に6月に開催された熊救協スポーツ大会で新競技に採択された「モルック」の練習を実施しました(練習の甲斐あって6月の大会では優勝しました)。春のスポーツ大会の後は、恒例のバーベキューを実施し、入所者の皆さんはお腹いっぱいになるまで、焼肉を食べられました。皆さん、大満足の1日でした！



社会福祉法人 特別区社会福祉事業団様の研修を終えて

令和4年4月から令和7年3月までの3年間にわたり、東京23区の社会福祉法人特別区社会福祉事業団の職員さんが研修に来られました。今回の事業団様からのご要望は、「救護施設の入所者処遇について、長期にわたり多数の職員の研修をお願いしたい」というものでした。そして、3年間にわたり12名(うち施設長6名)の方が、真和館近くにアパートを借り、1人あたり2~4か月の研修に代わる代わるお越し頂き、真和館入所者の支援業務に携わって頂きました。3年間に及ぶ長い研修期間には、真和館の処遇困難な方に対し、献身的に貢献して頂くだけでなく、新型コロナウイルスのクラスターへの対応や、井戸ポンプの故障に伴う水汲み作業、地域の区役(道路清掃)など、研修の域を超えた施設運営上の様々な出来事に対応頂きました。今回の研修を通じて、真和館職員にとっても良き刺激と良き学びを頂くことができ、人間的にも大きな成長に繋がったのでなかろうかと思われまます。この御縁を大事にし、今後とも事業団様と末永いお付き合いをお願い致します。

感謝状をいただきました



新入職員ごあいさつ



山口 宏(生活支援員)

4月に入職しました山口です。前職は、特別養護老人ホームで、介護職員として勤務していました。真和館では、前職の経験を生かしつつ先輩職員の皆さまのように、仕事ができるよう努めていこうと思っています。よろしくお願ひします



お誕生日おめでとうございます

7月	緒方さん	10月	飯干さん
	前川さん		小川さん
	東條さん		高崎さん
	豊原さん		雨森さん
8月	橋本さん	11月	草西さん
	林さん		藁井さん
	貞永さん		峯友さん
	早川さん		西山さん
9月	益田さん	12月	河野さん
	増本さん		尾崎さん
	森川せさん		橋本さん
村上さん		三澤さん	

<編集後記>

今年の夏も「全国的に気温は高い」と予想されています。私の住むアパートの部屋は角部屋(南・西向き)なので、この季節は帰宅すると、灼熱の部屋になっています。おかげで麦茶やそうめんが美味しく感じます。皆さまも暑さ対策は十分にし、熱中症にならないように、暑い夏を過ごしていきましょう。

編集責任: 二上

発行: 社会福祉法人 致知会
 救護施設 真和館
 〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
 TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
 E-mail:shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
 HP:http://shinwakan.or.jp
 (※HPをリニューアルしました)

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。